

平成22年度事業計画書

(平成22年4月1日 ~ 平成23年3月31日)

財団法人DNP文化振興財団

平成22年度 事業計画書

(平成22年4月1日～平成23年3月31日まで)

1. アーカイブ事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関する作品や資料の収集、保存及びその公開を行なう。また、この活動に関わる諸テーマについて、財団独自で調査、研究を実施すると共に、国内外機関、個人との共同研究等も行う。【寄付行為 第5条(1)、(3)、(6)】

国内外の優れたグラフィックデザインならびにグラフィックアート等に関する作品・資料を収集・保存し、その体系化やその適正・有効な活用をはかるための調査、研究を行うと共に、作品、資料、調査研究の成果を公開する。調査研究の成果については、アニュアルレポート等の刊行物や、Web サイト等で公表する。

平成22年度は、平成20度に収集した田中一光アーカイブ、平成21度に収集した福田繁雄ポスターアーカイブを中心として事業を推進する。本アーカイブの整備と一般への公開、海外への寄贈などをテーマとする。

所蔵するアーカイブをデジタルデータに変換・保存し、データベース化する作業は継続的に進める。

外部(特に国外)へ貸し出す際、寄贈する際のルールや権利関係の整備をする。

(1) 田中一光アーカイブ

平成20年秋、田中一光アーカイブを当財団のCCGA(須賀川)に収集した。

ポスターに関するデータの精査をおこない、ポスター以外の収藏品データベースも継続して作成する。検索しやすいデータベースの仕様を検討する。

(2) ポスターアーカイブ

デザイナー100名、作品10,000点の収集を目標とする。現時点では、63名のアーカイブを収集している。

平成22年度は、8名のデザイナーを対象にヒアリングとコレクション調査を実施し、作品の寄贈を依頼、CCGAに収集する。併せて、作品の体系化のための調査、研究を行うと共に、利用・公開のための調査を実施し、ポスターコレクションの公開基準、手続き等を整備する。これにより Web サイトでの公開や他美術館からの貸出し要請への対応を目指す。

(3) 人物アーカイブ

グラフィック作家(20名)を主体とする作品、映像、文献、記事、原稿など複合的な資料を対象とするアーカイブ。

平成20年度制作し平成21年度に全国の図書館、教育機関等に寄贈した映像DVDの活用を促進する。

(4)タイラーグラフィックス・アーカイブ

アメリカの版画工房タイラーグラフィックスのコレクションを基盤とするアーカイブ。平成22年度も引き続き、CCGAに収蔵する同工房と著名作家とのコラボレーションを通じて制作された1,000点を越えるアメリカ現代版画のコレクションに関するテーマを設定し、その展覧会を開催する(CCGAにて公開)。また、他の美術館等への作品の貸し出しも行なう。

・事業費:12,700千円

2. 展示事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とする優れた作品等の展示活動を行なう。展示企画内容により、必要に応じて国内外機関、個人との共同研究等を行ない、また、展示施設の管理運営を行なう。【寄付行為 第5条(2)、(6)】

グラフィックデザインならびにグラフィックアート作品に関する鑑賞・体験機会を一般に広く提供するため、独自の展覧会を企画する。展覧会は、東京都 ggg、大阪府 ddd、福島県 CCGA の3展示施設で開催する。

ggg、dddにおける展覧会は、アーカイブ事業に関する公開の他、作家の個展、並びに作家や監修者等の個人または関係機関との共同研究等の成果の公表として実施し、CCGAにおける展覧会は、所蔵品展を中心とする。

平成22年度は、当財団のアーカイブを中心とする展示を3ヶ所のギャラリーを巡回し、アーカイブ事業の認知をひろげる。また、国際的なグラフィックデザインをテーマとする企画でグローバルな展示活動を目指す。

第294回(1月)には、DNPグループが長い間育ててきた和文書体の秀英体100周年をテーマとする展示を開催する。

ggg(銀座)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 285 回 10TDC 展	4/2(金)～4/24(土)
第 286 回 井上嗣也展	5/7(金)～5/31(月)
第 287 回 ネビル・プロディ展(イギリス)	6/4(金)～6/28(月)
第 288 回 2010ADC 展	7/5(月)～7/29(木)
第 289 回 ラルフ・シュライフォーゲル展(スイス)	8/4(水)～8/28(土)
第 290 回 プッシュピン ST 展(アメリカ)	9/2(木)～9/28(火)
第 291 回 海と山と新村則人展	10/5(火)～10/28(木)
第 292 回 服部一成展	11/4(木)～11/27(土)
第 293 回 ユーフラテス展	12/2(木)～12/25(土)
第 294 回 秀英体 100 周年記念展	1/11(火)～1/31(月)
第 295 回 The Designers Republic 展(イギリス)	2/4(金)～2/28(月)
第 296 回 立花文穂展	3/4(金)～3/28(月)

・ddd(大阪)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 173 回 北川一成展 (巡回展)	3/23(火)～5/12(水)
第 174 回 10TDC 展 (巡回展)	5/21(金)～7/3(土)
第 175 回 福田繁雄展 (巡回展)	7/13(火)～9/4(土)
第 176 回 2010ADC 展 (巡回展)	9/14(金)～10/30(土)
第 177 回 田中一光展 (巡回展)	11/9(火)～12/22(水)
第 178 回 G-West 第 3 回展	1/18(火)～3/9(水)

・CCGA(福島)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 50 回 田中一光展 (巡回展)	3/6(土)～6/6(日)
第 51 回 タイラーグラフィクス・アーカイブ コレクション展 Vol.22	6/12(土)～9/12(日)
第 52 回 福田繁雄展 (巡回展)	9/18(土)～12/23(木)
所蔵品展「未定」	未定

ggg、ddd の入場料は、無料とする。CCGA の入場料は、有料(一般 300 円、学生 200 円)とする。但し、以下の方々は無料とする。

小学生以下と 65 歳以上の方、及び障がい者手帳をお持ちの方、地域の教育関係者(教員、学生)の教育を目的とした団体、オープニングイベント参加者、有料の講演会、映画会等への参加者 他

・事業費:610,280 千円

3. 教育・普及事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関するセミナーの開催、刊行物やインターネット等を通じた情報提供等の教育・普及活動の実施。【寄付行為 第5条(4)】

グラフィックデザインならびにグラフィックアート等に関する知識・関心を、一般の方々に広げることが目的に、講演会、図書等の刊行、インターネットを通じた情報配信を行なう。

平成22年度、ギャラリートークは、引き続き展覧会と連動し、その質量の充実をはかる。平成21年度に導入したネット配信システムを、外部にも簡便に提供できるシステムに移行し、遠隔地の会場への配信を目指す。
ゼミナールやワークショップは、作家との連動、他団体との協力でグラフィックを学ぶ学生や、アートを楽しむ人を対象に開催する。
gggBooks発行予定は4点、アニュアルレポートは、6月に発行予定とする。

ギャラリートーク:展覧会の出品作家自らが自作や世界観を語るセミナー。

平成22年度は ggg(銀座)で12回、ddd(大阪)で5回開催を予定する。

また、セミナーのネット中継先の拡大を図り、作家及び出演者の事前許諾のもと、大学をはじめ希望する教育機関に通信回線を通じ実況中継することを計画する。また、記録情報のネット配信等に関する準備を行なう。

CCGA 講演会:平成22年度より、地域住民を対象とした CCGA ゼミナールを開設する。来場者に、グラフィックアートを鑑賞する楽しさを伝える。

図書の刊行:平成22年度は、展覧会と連動し、作家の作品集「ggg Books」を5点発行する。

(発行予定作家:シュライフォーゲル、新村則人、服部一成ほか)

アニュアルレポート発行:平成22年度は、「アニュアルレポート 09-10」を発行し、翌年度刊行する「アニュアルレポート 10-11」の企画・編集を開始する。

ギャラリーHP:更新頻度を高め、質・量に富むサイトとして継続展開する。新鮮な情報をできるだけリアルタイムで発信できるよう、システム面のリニューアルと運用面の改善を実施する。

また、ギャラリートークでの作家の新鮮な情報を発信できるような運営を目指す。

・事業費:81,650 千円

4. 国際交流事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした国際交流を行う。【寄付行為第5条(5)】

ggg、dddギャラリーにて海外作家の展覧会を企画する。また、国内の他のグラフィック団体(国際グラフィック連盟(AGI)、東京アートディレクターズクラブ(ADC)など)と連携し、海外に日本のグラフィックデザインを紹介する。展覧会活動と連動し、海外作家らの展覧会、講演会も合わせて行なう。

平成22年度は、4回の海外作家および団体の展覧会を通じて、海外のグラフィックデザイン事情を紹介する。

また、世界27カ国のトップデザイナーによって構成される国際グラフィック連盟(Alliance Graphic International)の事務局のサポートを継続し、海外作家との情報交換を積極的におこなう。

・事業費:3,500 千円

5. 研究助成事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした芸術文化活動に対する顕彰及び助成。【寄付行為 第5条(7)】

グラフィックデザインならびにグラフィックアートに関する研究者の活動を支援するため、「歴史」、「国際動向」、「教育」、「社会との関わり」、「技術動向」等、グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とする芸術文化の普及、振興に資する優れた研究テーマや刊行物等に助成する。

平成22年度は、環境をテーマとしたグラフィックデザイン、グラフィックアート活動に協力する。

CCGA(須賀川市)周辺で開催されるグラフィックアートに関連する文化事業に対して従来から行ってきた助成・協賛を継続する。また、平成21年度に検討した内容をもとに、継続的な助成プログラムの実施計画を立案する。

・事業費:5,800 千円

6. 収益事業

CCGA における喫茶の提供を継続する。また、他社および作家によって企画製造されたグッズ、出版物等を販売する事で、グラフィックアート、グラフィックデザインの普及を目指す。

・事業費: 30 千円

以上